

平成30年大阪医科大学医師会総会議事録

大阪医科大学附属病院中央検査部／書記 村尾仁

日 時:平成30年6月5日(火)18:00～19:00
場 所:大阪医科大学第2会議室(総合研究棟12階)
出 席:米田会長、森脇副会長、鳴海副会長、萩森理事、村尾理事、
石田評議員、浮村評議員、根尾評議員、岡田評議員、新田評議員、
瀧谷評議員、大道評議員、寺崎評議員、中野会計、金網会員、
星賀会員、田中慶会員、黒岩会員(敬称略)

会長が、出席18名、委任状246、計264、総会の定足数である会員数510の過半数256を超えているので、総会が成立することを宣言し、開会した。

議長に森脇副会長が選出され、議事が進められた。

<会長からの挨拶>

お忙しいところご参集いただきありがとうございます。大学医師会は方向性が難しいです。高槻市医師会、茨木市医師会、摂津市医師会等、地域の医師会と連携を大切にし、学術活動として北摂四医師会医学会総会を行ってきました。また、学会等に助成を行い、医師会報をホームページ上で発刊しました。

前任の河野会長から引き継いで、大きな問題もなくやってこられたのは、みなさんのおかげです。来期途中で定年退職を迎えるので、この総会をもって退任します。次期会長は、理事会で森脇副会長に決まりました。

1. 平成29年度事業報告(米田会長)

定常的な活動を着々と行っている。

1)大阪医科大学医師会の充実

会員数が496名(平成29年5月31日現在)であった。研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、米田会長が日本医師会と大阪府医師会と大阪医科大学医師会の役割の違いや、医賠償保険等医師会入会のメリットを説明し、勧誘を行った。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーも4月1日に例年通り開催された。

大阪医科大学医師会の役員は、榎野評議員と石田評議員が内科学Ⅰから内科学Ⅳに異動となった。内科学Ⅰ評議員に横手会員が就任し、もう1名は空席となった。

医師資格証は、初年度手数料と年間使用料が無料となり、利用しやすくなった。医師であることが証明できるので、組織に属していない医師には有用である。更新料は若干かかる。

日本医師会生涯研修制度は、医師免許生涯交付のために医師が自己研鑽していることを示す大切な制度である。大学では学内で研修会等が多々開催されているので開業医のようなメリットはないが、大阪府医師会からも活用を呼びかけている。

大阪医科大学医学会のホームページの更新も定期的に行っている。当医師会についての情報や、大阪医科大学医師会会報第48号と第49号を掲載した。

2)大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学医師会報を2号発行した。9月15日に発行した第48号では「卒前教育のあり方」について座談会を開催し特集として掲載した。3月15日に発行した第49号では「大阪医科大学における地域包括ケア」について座談会を開催し特集として掲載した。

学会等助成は、平成28年度に選考した平成29年度分、2学会に計15万円を助成し、6月5日に開催した当医師会総会内で贈呈式を行った。10月に平成30年度分の公募を行い、12月に4学会に助成することを決定した。

北摂四医師会医学会総会を、茨木市医師会の当番で、6月10日(土)に茨木市こども健康センターで開催した。特別講演に大阪医科大学一般・消化器外科学教室田中特任教授が「直腸がんに対する手術の変遷」について講演し、一般演題10題の発表があった。北摂四医師会医学会総会優秀演題賞には、「慢性血栓塞栓性肺高血圧症に対する経皮的肺動脈バルーン拡張術の初期成績」を発表した大阪医科大学循環器内科の武田講師(准)が選考された。

北摂四医師会分科会は、休会中の分科会もあるが、活動中の各分科会は研究会を開催した。

北摂四医師会医学会のホームページには、総会の案内や抄録、分科会の開催案内等を掲載しているので、活用願いたい。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックは、ブロック委員会4回開催し、積極的に活動した。1月13日に開催した第2ブロック研修会では、神戸大学大学院青井教授に「iPS 細胞にインスパイアされた医学の展開」について講演いただいた。

3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会代議員会は、6月25日に第140回、3月25日に第141回が開催され、日本医師会代議員である米田会長が出席した。

大阪府医師会の郡市区等医師会長協議会が毎月第3金曜日14時から開催されるが、米田会長が出席しにくい時間帯で出席できず、内容を伝達できず申し訳ない。大阪府代議員会は、6月29日に第309回、3月22日に第310回が開催され、米田会長が出席した。

在阪5大学ならびに2行政医師会役員との懇談会が、11月9日に「医師の働き方改革」をテーマとして開催され、米田会長、鳴海副会長、萩森理事、梶本理事、村尾理事、星賀会員が参加し、星賀専門教授に「本学における医師の働き方改革」を発表いただいた。

大阪医科大学医師会に所属している大阪府医師会各種部会や委員会のメンバーは総会資料の通りで、各委員積極的に参加した。

全国医師会勤務医部会連絡協議会総会が、「地域社会をつなぐ明日の医療を考えると」をテーマとして10月21日に札幌で開催された。

全国大学医師会連絡協議会が、6月25日に東京医科歯科大学で開催された。

三島医療圏がん診療ネットワーク協議会が、1月25日に大阪医科大学で開催され、米田会長が出席した。

高槻市医師会勤務医総会が、「進化する癌化学療法」をテーマとして2月1日にアンジェルデマリアージュで開催された。

2. 平成30年度事業報告ならびに事業計画(米田会長)

事業を継続的に進めていく。

1) 大阪医科大学医師会の充実

会員数が510名(平成30年5月31日現在)となった。4月3日に開催された研修医の入職時のオリエンテーションにおいて、米田会長が医師会の役割や医賠償保険等について説明し、今年度より日本医師会医賠償保険金額が引き下げられることも加えて説明した。20名の研修医が入会した。入会率は36.4%なのでもう少し入会してもらいたい。大阪府医師会主催の新研修医ウェルカムパーティーが4月7日に開催され、医師会員は数名参加したが、本学の研修医は本学で医療安全ワークショップが開催されているため参加できなかった。

日本医師会医賠償保険は他社の保険に比べて有利であるが会費が高いため、医師会に加入する若手が減少している。その対策として、会費が引き下げられ、特に30歳以下では年額4.3万円超減額となる。

当医師会の役員については、本日より2年間で任期となる。米田会長が退任し新会長に森脇副会長が就任することが理事会で決定された。副会長には中野会計、萩森理事、梶本理事の3名が就任する。理事(大阪府医師会評議員兼任)が1名追加となり中野理事が新任され、他の理事は再任となる。鳴海理事には定年退職される今年度末まで引き続き理事をお願いする。評議員は、内科学Ⅰ評議員に大西会員、脳神経外科評議員に平松会員、三島南病院評議員に榎野評議員が新任し、他の部門の評議員は再任となる。会計は、中野会計が退任し、瀧谷評議員が就任する。編集委員は、林委員が退任し田中会員が就任し、他の委員は再任となる。

医師資格証、日本医師会生涯研修、大阪医科大学医師会ホームページについては、昨年度に引き続き実行する。

2) 大阪医科大学医師会の学術活動

大阪医科大学医師会報を例年通り電子媒体で年2回発行する。9月15日発刊予定の第50号は特集として「大阪医科大学附属病院におけるがんゲノム医療:今後の展開」を掲載する予定である。第51号は3月15日に発刊する予定である。

学会等助成金は、昨年度選考した4学会に計35万円を助成し、平成31年度公募を10月1日より1ヵ月間行う。

北摂四医師会医学会は、第27回医学会総会が高槻市医師会の当番で6月9日(土)に実施された。特別講演は「神経難病治療の進歩」を荒若教授に講演いただき、好評を博した。一般演題は10題集まり、どれも良い演題で非常に活発な会となった。今年度より優秀演題を2題選考することとなり、1月に予定されている大阪府医師会勤務医部会第2ブロック研修会で各5万円を授与する。北摂四医師会医学会役員会も同日実施した。分科会の開催をホームページでアナウンスしているので、開催が決まれば当医師会に連絡願いたい。

大阪府医師会勤務医部会第2ブロックでは、昨年度に引き続き積極的に活動を進め、第2ブロック研修会を1月に開催を予定しているのでぜひご参加いただきたい。第1～4ブロック合同懇談会にも積極的に参加したい。

3) 日本医師会・大阪府医師会・在阪5大学医師会・地域医師会との連携強化

日本医師会の代議員会は、6月23日に第142回、6月24日に第143回、3月31日に第144回が予定されている。

大阪府医師会の代議員会は、5月24日に第311回が開催され、6月21日に第312回、3月28日に第313回が予定されている。

日本医師会大学医学部・医師会女性医師支援担当者連絡会には、調整しながら出席していきたい。

在阪5大学医師会との懇談会は、11月29日に開催が予定されている。

全国医師会勤務医部会連絡協議会は、11月3日に長崎で開催が予定されている。時間が可能なら出席したい。

全国大学医師会連絡協議会は、東京医科歯科大学を中心に活動されている。各医師会で構成や組織が異なるため集まって活動するのは難しい。

3. 平成29年度会計報告・会計監査報告(中野会計)

中野会計より、前年度は単年度75万円の赤字であるが、繰越金をだんだん減らしていこうという予算どおりに執行されており、30～40年は大丈夫であることが報告された。

土手監事と麻田監事ともに会計報告に間違いがないことを認めた。全会一致で承認された。

4. 平成30年度予算案(中野会計)

中野会計より前年度と同じ事業を展開するための予算案の提示があった。

平成30年度より日本医師会費が減額されているので、それに伴い郡市区医師会交付金と医学症例交付金の収入減が見込まれる。支出の部では今年度より新たに謝金10万円を計上する。単年度でみると73万円程度赤字である。

今年度予算案は、全会一致で承認された。

5. 規程の改定

1) 大阪医科大学医師会会則

編集委員等の委員は、現行の会則では評議員より選出することとなっている。今後は、編集委員の幅を広げるために会長が推薦する会員も加えたい。そのために附則1.を「大阪医科大学医師会会報編集委員(若干名)等の各種委員会委員は、評議員および会長が推薦する会員より選出する。」とし、附則「この改正は、平成30年6月5日より施行する。」を追加することが米田会長より提案された。

会則改正案は、全会一致で承認された。

2) 謝金に関する規程

会報を発行するにあたって、当医師会の会員でない医師やコメディカルに執筆や座談会の参加を依頼することがあるが、現在は謝金を渡せていない。今後は規程に基づいた金額で謝金を支払うことが望ましい。規程がないと払わなければならない時に払えないので、規程が必要と考え、米田会長より提案があり、規程案が提出された。規程の中に記している単価について会議費と原稿執筆料は京都大学謝金標準単価表をもとに一般的な金額にし、講師謝金の単価は大阪府医師会の規定と同額とした、予算にも若干盛り込んでいると米田会長より説明があった。

規程案は、全会一致で承認された。

6. 平成30年度学会等助成贈呈式

採択された2題について計15万円の目録を贈呈した。

以上